

## 関東一泉同窓会／幹事会議事録（泉丘 38 期）

第	2回
日時	4月23日(日) 15:15～
場所	若松地域センター



(懇親会)  
梅香苑 17:30～20:30

参加者:別表(合計 24 名)

## &lt;議事&gt;

## 1. スケジュール管理表の確認・各班との調整事項の確認

班	議事内容	残課題・その後の動き等
事務局	当日の応援を 38 期以外にも依頼するかを検討を含め、応援要請は動員班から行ってほしい。	お土産(落雁)については決裁取り忘れ
IT	毎回の幹事会議事録は幹事会終了後 1 ヶ月以内をめどに HP へアップする。HP での総会・懇親会の告知ページも制作・公開する。	
会計	同窓会で使用するゆうちょ銀行の名義変更を済ませた。各班で必要な予算額について積算してほしい。9 月準備会にて予算は正式決定される。同窓会当日、参加者から受け取った参加費の処理等については会計班の 2 人だけでは対応できないかもしれない。2 人追加して 4 人くらい必要と考えている。	
渉外	金沢の味コーナーを用意するのか、それとも廃止するのかについては幹事会の場でも検討していきたい。協賛依頼について、金沢在住者から依頼してもらうか、東京から依頼するのかについては検討中。依頼する会社等のリストを 5 月中に作成していく中で検討を進める。県酒造組合連合会を通じて協賛依頼できるか問い合わせしてみたが断られた。幹事が勤務するビール会社からビールを協賛品として提供できるとの報告があった。	
企画	詳細は議題 5 で	
動員	(懇親会にて)配布資料に基づき動員の方針を説明。クラス担当と仲の良い人の二者から行うことで進める	
会場		
受付	高齢の OB の方が当日来場した際、開催までどこで待機してもらうかなどアテンド方法の検討が必要。受付時の会費のお釣りの用意、名札の作成、受付用名簿、立て看板の準備等が必要。会場、IT 班と協力、分担して対応していきたい。39 期の人の手伝いについても必要人数を 7 月までには決めたい。開宴後、しばらくの時間の受付居残りについても検討していきたい。	
司会	10 月に事前リハーサルをしたいので、銀座ライオンか会議室を借りたい。	直前リハーサル: 10/22 13 時から国立学園で実施(K氏の尽力)
エール	一中校歌は 3 題目まで歌う。一中、泉丘のエール交換等演目構成を早く決めたい。	
記録		

## 2. 金沢チームについて

班	議事内容	残課題・その後の動き等
事務局	<p>事務局から昨年は金沢で動員を実施しているが、これまでの Slack での議論では、そこまでする必要はないのではないかという意見が聞かれている。しかし、渉外班では金沢で動けるメンバーが必要なのではないか。</p> <p>渉外班 渉外班としては、金沢にて企業とコンタクトしてもらえると助かる。</p> <p>IT 班 38 期の金沢在住者に対しては、①当日の総会・懇親会に参加してもらうこと、②地元での協賛依頼を手伝ってもらうこと、の 2 つの話がある。</p> <p>動員班 金沢在住者の一定数にコンタクト取れるので、お願いすることはできる。ただし、一方的なお願いでなく、2 年後の金沢での一泉同窓会で協力する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①②共通:2 年後の金沢での同窓会幹事を見据えて動員、協力要請を行っていきたい。2 年後の金沢同窓会では関東の 38 期も応援するつもりである。昨年の金沢同窓会に出席してくれた人ならば手伝ってくれるか。</li> <li>・①:連絡先が分かる人にはメール、はがきを使って総会・懇親会参加を勧誘する。</li> <li>・②:例年、協賛をお願いしているところには手紙にて依頼できるか。新規のところには訪問が必要になるので金沢在住者へお願いするかもしれない。いずれにせよ、依頼先候補のリスト作りをした上で依頼方法を検討する。37 期の方はかなり努力された。</li> </ul>	<p>&lt;次回確認&gt; 渉外班での協賛依頼先リストの作成状況</p>

## 3. 案内ハガキについて

班	議事内容	残課題・その後の動き等
事務局	<p>同窓会に関心がなく、案内はがきの送付は不要と考える人に対して、「案内はがき不要」の申し出をしてもらい、来年以降の送付を中止して費用削減を図りたい、とする案をはがき文面案の提示とともに事務局から説明した。</p> <p>IT 班 本部の名簿管理のありかたを改善することが優先課題なのではないか。</p> <p>動員班 同窓会へ多くの人に来てもらうのが開催の本来の趣旨である、同窓会に関心が無いといっても時期が変われば参加してみてもよいかと気持ちも変わる可能性がある。また、毎年のはがき送付は住所等変更を連絡してもらうのに有効。</p>	<p>&lt;次回確認&gt; ハガキ文面の検討継続</p>

## 4. 当日のパンフレットについて

班	議事内容	残課題・その後の動き等
代表幹事	<p>昨年のパンフレットの掲載内容を元に検討。</p> <p>イラストレーターでの制作は幹事の子弟に願います。総会の進行や予算、懇親会の企画、協賛社の社名掲載などの部分については、スペースをコマ割りしてサイズをきちんと決めた上で各班分担して制作する方法を提案、説明された。</p> <p>最近の学校内の様子を撮影した写真データがあるので、素材として使用できるとの報告もあった。</p>	<p>&lt;次回以降&gt;</p> <p>割り当てられたスペースに記載する内容の確認</p>

## 5. 企画の検討状況

班	議事内容	残課題・その後の動き等
企画班	<p>クイズを行い、設問に対する回答で世代間の差が出るような内容を考えている。泉丘に特化したものとし、時間の関係から設問は5問くらい、会場での「見せ方」にも工夫したい、などの説明があった。IT班から協力する旨の発言があった。</p> <p>昨年と同様に、Web上での事前アンケートを実施する予定。案内はがきを使って告知したい。</p> <p>企画班の中では2月下旬から議論を続けているが、まだ内容は固まっていなく、他の班の人でもアイデア等あれば提案してほしいと要請があった。</p> <p>企画班内でもクイズ以外も考えたが、時間が短いことや、多くの方が友人との会話が弾んでいる中で、企画内容にどれだけ関心持ってもらうかが難しいので、クイズになった旨の補足説明があった。</p>	<p>2年前のクイズの台本の提供を受け、重複しないよう確認している。</p>

## 6. 予算の検討状況

班	議事内容	残課題・その後の動き等
会計班	<p>寄付や協賛については、昨年と同程度やそれ以上と無理して要請しても実際に集まるかどうかわからない。予算上で収支を昨年よりは少なめに検討、計上したいとの説明があった。</p> <p>2/18引継会にて提案があったとおり、繰越金についても前年比プラス10万円を目指したいとの発言もあった。参加者を350人と想定すると会費収入は332万円になる、若年層の参加を増やすため、65～69期を1,000円としてみてはどうか、ただし、現在の試算では、ホテルで用意してもらう食事を350人×65%程度分まで少なくしないと収支が合わないとのこと。</p> <p>渉外班</p> <p>寄付、お祝い、協賛などを受け取る際、領収書発行の名称(協賛金なのか寄付金なのか、統一してほしいとの依頼があった。</p>	<p>&lt;次回&gt;</p> <p>各班での予算積み上げ検討</p> <p>&lt;渉外班の依頼&gt;</p> <p>一旦、経理実務者からメールで回答(末尾ご参考)</p>

## 7. その他各班からの課題提起など

班	議事内容	残課題・その後の動き等
代表幹事	<p>備品として腕章、リボンがあるが、会場内で目立たないため、代わりになる物を用意したいとの提案が企画班からあった</p> <p>何かしらの物を制作、用意すること(場合によっては費用は自分たちで負担して翌期以降の幹事へ寄贈することになったとしても)で意見は一致。</p> <p>どのようなものにするか、デザインはどうするか、費用をどうするか等の点については引き続き検討していくこととなった。</p>	<p>&lt;次回&gt; 具体化検討</p>
代表幹事	<p>前回(2/18)幹事会以降の活動について報告</p>	

<次回 5/20(土)13:00～テーマ(暫定)>

1. お土産品の決定
2. 渉外班のリスト作成状況
3. 案内ハガキの検討

以上

<補足資料>

I. 出席者 合計24名

代表幹事					
代表副幹事					
事務局					
IT					
受付					
会計					
渉外					
司会					
会場					
企画					
記録					
エール					
動員					

II. 協賛金等の名称について

少し時間がたって、曖昧になってしまっていますが、問題としては

- ・渉外班が、企業等にお問い合わせする場合や領収書に何と書けばよいか？
- ・予算を考える時に、渉外班が念頭に置くのはどの金額か？

ということかと思っていますので、その前提でいったん以下のとおりにご連絡します。

①支払い側は、税金のメリットを出すために、その会社にあった 名目で支払われてくると思います。

税務署が見るのは、当該支払いが、「広告宣伝費」なのか、「寄附金」なのか「交際費」なのか、になります。

「広告宣伝費」に該当すれば、会社の費用として認められ、税金はかかりません。

「寄附金」や「交際費」は税金が控除できる限界があります

というのが一般的ですが、会社の状況や、個人経営なのか、とか、会社からではなく個人からの支払なのか、などで、支払い側はもっとも説明しやすい呼び名を使うと思います

※領収書等に記載する場合は、相手に合わせるほうが無難ですし、企業であれば通常「広告宣伝費」になったほうが最も税メリットがありますので、「協賛金」としたうえで、こちらで実施した広告の状況等の実績を見せる必要があります。

②入金側の科目名称は、同窓会としてはどちらでもよく、決算報告でも「寄付・協賛」と書いています。

ただ、予算を作成したり、これから渉外班が目標を考える時になんとなくドンブリ勘定のようにわかりにくいのも事実です。

区分して考えるとすれば、

- ・企業(株式会社か個人経営かは区分しない) — 協賛金
- ・個人的な支払 — 寄付、お祝い

として、協賛金を何社にお問い合わせするか・・・という感じになるのではないのでしょうか。